



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5261 URL https://www.resol.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 及川 毅雄 TEL 03-3344-8861  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,682	87.1	945	—	876	—	557	—
2022年3月期第2四半期	6,778	28.0	△1,065	—	△970	—	△874	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 558百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △868百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	100.30	—
2022年3月期第2四半期	△157.51	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	38,141	13,961	36.0	2,473.17
2022年3月期	39,056	13,680	34.5	2,422.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 13,739百万円 2022年3月期 13,457百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2023年3月期の配当予想については、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

2023年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。今後、新型コロナウイルスの影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	5,564,200株	2022年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	8,820株	2022年3月期	9,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,555,065株	2022年3月期2Q	5,554,576株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和されたことで、社会経済活動に回復の動きが見受けられました。一方で、国際情勢の不安定化による、エネルギー・原材料等のコスト高騰や、急激な円安の進行といった景気の下振れリスクも高まりつつあり、依然として先行き不透明な状況ではあるものの、インバウンド需要が徐々に増加する傾向にある等、当社グループを取り巻く環境にも回復の兆しが見えてきました。

このような経営環境のもと、急速に変化するマーケットに対応した戦略で既存事業の成長を図るとともに新しい価値観を積極的にとらえ、新規事業の活動を加速させました。特に、ゴルフ場でのプライベート空間と開放感の両立が図れる戸建てスタイルの“フェアウェイフロントヴィラ事業”、1泊から長期滞在まで多目的に楽しめる貸別荘の“リソルステイ事業”、脱炭素ニーズを見据えた新たな“再生エネルギー事業”について積極的に取り組みました。同時に、グループの価値基準である「あなたのオフを、もっとスマイルに。」と長期方針である3つの「やさしい」の実践を徹底し、各事業においてサービス体制を強化してお客様の満足度向上を図りました。

ホテル運営事業では、企業研修の団体長期宿泊、ビジネス出張、レジャー・観光宿泊などの動きが活発になりました。「上級・女性・観光・長期滞在」のテーマや品質・サービスを重視した企画・販売を実施しながら、“ホテルリソル”の強みを活かしたブランド向上への取り組みを一層進めました。さらに、「ホテルリソルステイ秋葉原」(2023年春オープン予定)の開業準備を進めました。

新規事業の“リソルステイ事業”では、貸別荘ニーズの高まりを背景に受託物件拡大に注力し、「スイートヴィラ」の新規開業を積極的に進めるとともにWEB施策等で稼働率向上を図りました。

ゴルフ運営事業では、需要に合わせてプレー単価を変動させる「レベニューマネジメント」により売上が向上しました。また、リソルカード会員のリピート率アップを狙った企画の実施で来場数は順調に推移しました。さらに、ゴルフ場でのプライベート感と開放感の両立が図れる戸建てスタイル“フェアウェイフロントヴィラ事業”として、「スパ&ゴルフリゾート久慈」における「ゴルフパッケージクラブ」の販売強化を図るとともに、「瀬戸内ゴルフリゾート」をはじめ、グループコースへの新たな展開に向けて新規事業の推進を図りました。

リソルの森(CCRC)事業では、ゴルフ部門において、コース品質への評価によるプレー単価上昇と会員権販売の好調が売上向上へとつながりました。宿泊部門においては、アウトドアリゾート需要を見据えたグランピングエリアが高単価・高稼働率となりました。さらに、リゾートエリアとの相乗効果も相まって、ゴルフ会員権やリゾート会員権「ゴルフパッケージクラブ リソルの森」の販売が好調に推移しました。

福利厚生事業では、ウェルビーイング関連メニューの提携拡充と会員の利便性向上を図りました。また、資本提携している(株)アドバンテッジリスクマネジメントとの連携を強化しながら、生活オンライン機能においてメニュー数拡充やLINEやスマホアプリでの利用促進などを図りました。

再生エネルギー事業では、グループゴルフ場3ヶ所における自家消費型のソーラーカーポート事業に向けた準備を進めました。また、福島新規太陽光発電設備建設計画の準備を進めました。

投資再生事業では、販売用不動産として旧ゴルフ場敷地内に開発した福島石川太陽光発電所第二設備の信託受益権(40%)を売却しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症によるホテル運営事業への影響が前年よりかなり改善したことや、投資再生事業が収益に寄与したことにより、売上高は12,682百万円(前年同四半期比87.1%増)、営業利益は945百万円(前年同四半期は営業損失1,065百万円)、経常利益は876百万円(前年同四半期は経常損失970百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は557百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失874百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、38,141百万円となり、前連結会計年度末に比べて915百万円減少しております。これは主に現金及び預金が1,301百万円増加、販売用不動産が1,868百万円減少等によるものです。負債につきましては、24,179百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,196百万円減少しております。これは主に、短期借入金が1,300百万円減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響に未確定要素が多く、現時点で業績予想を合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

また、上記の通り2023年3月期の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても引き続き未定とし、2023年3月期の業績予想の算定が可能となった時点で、配当予想につきましても速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,452,681	4,754,507
営業未収入金(純額)	1,098,443	877,550
商品	100,250	101,408
販売用不動産	4,571,767	2,702,847
貯蔵品	74,021	83,556
その他	1,377,037	1,160,276
流動資産合計	10,674,201	9,680,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,132,532	6,129,765
土地	13,514,523	13,600,910
その他(純額)	2,756,837	2,782,840
有形固定資産合計	22,403,892	22,513,516
無形固定資産		
のれん	448,339	406,418
その他	356,523	348,785
無形固定資産合計	804,863	755,203
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	5,173,447	5,192,458
固定資産合計	28,382,203	28,461,178
資産合計	39,056,405	38,141,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	269,874	306,549
短期借入金	4,500,000	3,200,000
1年内返済予定の長期借入金	4,440,608	3,837,240
未払法人税等	721,307	565,028
賞与引当金	148,412	147,688
役員賞与引当金	11,000	—
その他	4,044,912	3,611,626
流動負債合計	14,136,114	11,668,132
固定負債		
長期借入金	6,611,196	8,131,692
預り保証金	2,109,568	2,026,878
退職給付に係る負債	447,422	438,119
従業員特別補償引当金	9,850	9,850
資産除去債務	398,553	201,573
その他	1,663,099	1,703,427
固定負債合計	11,239,690	12,511,541
負債合計	25,375,805	24,179,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,663,333	2,664,483
利益剰余金	6,868,424	7,147,879
自己株式	△22,637	△21,242
株主資本合計	13,457,207	13,739,208
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	266	184
その他の包括利益累計額合計	266	184
非支配株主持分	223,125	222,257
純資産合計	13,680,600	13,961,650
負債純資産合計	39,056,405	38,141,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	6,778,607	12,682,766
売上原価	2,555,230	5,677,504
売上総利益	4,223,377	7,005,261
販売費及び一般管理費	5,288,479	6,059,960
営業利益又は営業損失(△)	△1,065,102	945,300
営業外収益		
受取利息	13	19
受取賃貸料	5,295	3,926
受取保険金	2,720	5,128
雇用調整助成金	90,064	28,203
還付金収入	3,268	4,079
その他	142,506	47,363
営業外収益合計	243,869	88,720
営業外費用		
支払利息	82,115	76,649
支払手数料	23,068	61,964
その他	44,204	19,201
営業外費用合計	149,388	157,815
経常利益又は経常損失(△)	△970,621	876,205
特別利益		
固定資産売却益	397	17,791
負ののれん発生益	473,896	-
その他	-	437
特別利益合計	474,293	18,229
特別損失		
固定資産売却損	-	577
固定資産除却損	748	4,841
新型コロナウイルス感染症による損失	214,068	-
その他	200	1,687
特別損失合計	215,017	7,106
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△711,344	887,328
法人税、住民税及び事業税	110,574	343,681
法人税等調整額	47,316	△14,682
法人税等合計	157,890	328,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△869,235	558,329
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,646	1,132
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△874,882	557,197



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△869,235	558,329
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	761	△82
その他の包括利益合計	761	△82
四半期包括利益	△868,473	558,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△874,120	557,114
非支配株主に係る四半期包括利益	5,646	1,132

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△711,344	887,328
減価償却費	448,846	444,572
のれん償却額	41,921	41,921
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△913	△63
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,034	△723
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19,886	△11,037
受取利息及び受取配当金	△13	△2,033
支払利息	82,115	76,649
雇用調整助成金	△90,064	△28,203
受取保険金	△2,720	△5,565
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	△11,000
固定資産除却損	748	4,841
固定資産売却益	△397	△17,214
支払手数料	23,068	61,964
負ののれん発生益	△473,896	—
新型コロナウイルス感染症による損失	214,068	—
その他の特別損益(△は益)	△200	—
売上債権の増減額(△は増加)	293,994	220,955
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,898	2,110,522
その他の資産の増減額(△は増加)	△20,210	108,502
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,293	36,674
未払又は未収消費税等の増減額	△623,594	37,216
その他の負債の増減額(△は減少)	58,525	△481,053
小計	△776,110	3,474,256
利息及び配当金の受取額	13	2,033
利息の支払額	△82,779	△75,489
保険金の受取額	2,720	5,565
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△199,393	—
雇用調整助成金の受取額	110,511	25,625
法人税等の支払額	△113,104	△483,973
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,058,143	2,948,018
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△381,758	△758,604
無形固定資産の取得による支出	△7,317	△18,236
有形固定資産の売却による収入	397	20,000
敷金及び保証金の差入による支出	△217,959	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△910,000	—
事業譲受による収入	125,103	—
その他	8,078	11,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,386,456	△748,484

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,300,000	△1,300,000
長期借入れによる収入	—	4,006,600
長期借入金の返済による支出	△1,302,632	△3,089,472
リース債務の返済による支出	△145,266	△153,054
配当金の支払額	△276,584	△277,447
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,000
非支配株主からの払込みによる収入	624,500	—
預り保証金の純増減額 (△は減少)	△50,118	△82,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,149,897	△897,707
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,294,701	1,301,826
現金及び現金同等物の期首残高	4,311,277	3,452,681
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,073	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,018,649	4,754,507

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	1,438,549	2,892,073	1,519,698	422,894	486,983	18,407	6,778,607	—	6,778,607
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,747	24,334	24,166	7,948	36	—	82,232	△82,232	—
計	1,464,297	2,916,408	1,543,865	430,842	487,019	18,407	6,860,840	△82,232	6,778,607
セグメント利益又 は損失(△)	△1,051,422	302,176	126,705	14,331	32,650	△14,097	△589,655	△380,965	△970,621

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△380,965千円は、セグメント間取引消去△68,502千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△312,462千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ゴルフ運営事業」において、当第2四半期連結会計期間に株式会社唐津ゴルフ倶楽部を吸収合併し、連結子会社であるリソルゴルフ唐津株式会社を吸収合併存続会社と合併及び商号変更により株式会社唐津ゴルフ倶楽部を発足いたしました。これに伴い、負ののれん発生益473,896千円を計上しております。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される 財	1,438,549	2,854,864	1,513,502	46,705	486,983	12,782	6,353,387	—	6,353,387
一定の期間にわたり 移転される財	—	37,209	6,196	376,189	—	5,625	425,220	—	425,220
顧客との契約から生 じる収益	1,438,549	2,892,073	1,519,698	422,894	486,983	18,407	6,778,607	—	6,778,607
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,438,549	2,892,073	1,519,698	422,894	486,983	18,407	6,778,607	—	6,778,607

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注②)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	3,141,023	3,173,197	1,913,792	443,537	78,384	3,932,831	12,682,766	—	12,682,766
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	49,894	27,276	30,955	16,002	—	3,600	127,729	△127,729	—
計	3,190,918	3,200,473	1,944,747	459,539	78,384	3,936,431	12,810,496	△127,729	12,682,766
セグメント利益又 は損失(△)	△822,491	358,119	205,890	156	21,507	1,592,725	1,355,907	△479,701	876,205

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△479,701千円は、セグメント間取引消去△104,963千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△374,738千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される 財	3,141,023	3,071,882	1,852,668	74,882	78,384	3,929,551	12,148,392	—	12,148,392
一定の期間にわたり 移転される財	—	101,315	61,123	368,654	—	3,280	534,374	—	534,374
顧客との契約から生 じる収益	3,141,023	3,173,197	1,913,792	443,537	78,384	3,932,831	12,682,766	—	12,682,766
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,141,023	3,173,197	1,913,792	443,537	78,384	3,932,831	12,682,766	—	12,682,766

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の「ホテル運営事業」の一部を「ゴルフ運営事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分作成により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(訴訟)

当社を含めた建材メーカー20数社を被告とする建設アスベスト損害賠償請求訴訟が裁判所に提訴されております。

今後とも、裁判の推移に対応し、当社としての主張を行う等適切に対処していく所存であります。

なお、現段階では、本件に関する見通しは不明であり、当社の業績等に与える影響も不明であります。